

# その本はそこに

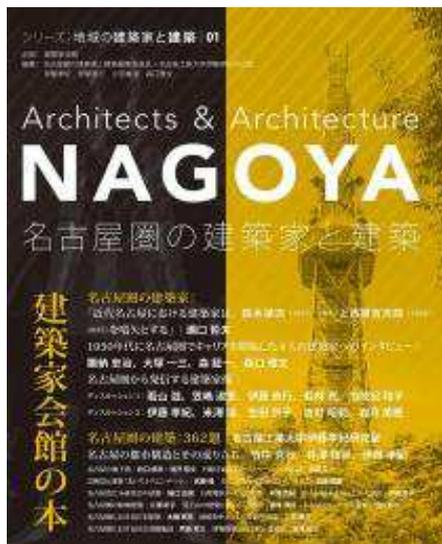
読書案内 26

～那古野・名護屋・名古屋～

## 名古屋圏の建築家と建築

シリーズ：地域の建築家と建築 01

企画：建築家会館 2019.03.31



■企画の株式会社建築家会館は1961年前川国男を中心とする約180名の建築家の出資により設立された会社です。これまで『建築家会館』の本として建築家シリーズ10冊（阪田誠造氏など）を発刊しています。今回、『地域の建築家と建築』としての初回、名古屋圏となりました。名古屋工業大学の伊藤孝紀研究室等が編集・資料作成をしています。

■目次・20世紀前半の建築家像（鈴木禎次・西原吉次郎など）

- ・名古屋圏の建築家へのインタビュー（大塚一三氏、鋤納忠治氏、森鉦一氏、森口雅文氏）
- ・若手建築家等のディスカッション（岡崎のstudio velocityなど）
- ・名古屋圏の都市構造とその成り立ち（伊藤孝紀氏など）
- ・名古屋圏の建築（都心・名古屋市・愛知県）
- ・14のコラム（市原正人氏（円頓寺）三矢勝司氏（岡崎りぶら）等）



### ■20世紀前半の建築家像

1906年、名古屋高等工業学校（現名古屋工業大学）教授だった鈴木禎次氏と愛知県営繕技師の西原吉次郎の両者は名古屋建築設計界の育ての親。鈴木禎次氏は鶴舞公園の噴水塔と奏楽堂（写真）を設計し、夜間イルミネーションで、博覧会（1910・明治43）を訪れた人びとを驚かせたようです。



### ■名古屋圏の都市構造とその成り立ち

築城（1610）から万治の大火（1660）後、広小路を13間へ拡張。明治大正の道路・鉄道・港湾等の整備、ささしまの名護屋駅の設置、そして鶴舞公園（1909）、新堀川（1910）が竣工。



昭和に現在の新名古屋駅（1937）の設置、桜通り（巾50m）の整備、今度は、太平洋戦争による戦災、その後の都市整備による久屋大通と若宮大通（100m道路）は名古屋戦災復興のシンボルになっている。

### ■名古屋駅と栄の変遷と現在のまちづくり（2019駅前広場の再整備プラン公表）

駅周辺トータルデザイン検討会議（篠原修・内藤廣・堀越哲美等）発足。東エリア：Team4N+ESHG（日建設計+ワークビジョンズ等）・デザイン監修：西村浩氏  
「名古屋駅前地区街づくり協議会」（国家戦略特区）

西エリア：中央コンサルタンツ+三菱地所設計+タイプエービー・デザイン監修：伊藤孝紀氏  
「名古屋駅太閤口まちづくり協議会」 △西エリアポータル提案にて決定

南エリア：「名駅南地区まちづくり協議会」「ささしまライブ24まちづくり協議会」  
長者町：「錦二丁目まちづくり協議会」、円頓寺：「四間道・那古野まちづくり協議会」  
栄地区：「栄まちづくり会社」「NPO法人久屋大通発展会」「栄東まちづくり協議会」

### ■名古屋圏の建築（362の建築、29の群景）

- ・名古屋JRセントラルタワーズ 設計：阪田誠造+坂倉建築研究所 等々…  
（さかたせいぞう=坂倉準三氏の死去後に西澤文隆氏らと坂倉建築研究所を設立）



### ■14のコラム：名古屋地下街、芸術祭、城復元、白壁、等々… 自由貸出可（黒野）